



秋市立小川小学校

小川っ子だより



第13号

令和2年2月20日

あ・思いやりのある子

か・がんばり続ける子

わ・わかる喜びを感じる子

春の息吹！

「寒いと木は休眠します。だから、暖かくなってきた時に目を覚まし木は生長していきます。だから、来シーズンの収穫がちょっと心配です。」と話してくださった高津さん。「寒いと虫がいなくなります。しかし、これだけ暖かいと虫がいるので・・・。」と話された山本さん。平山台で果樹栽培に携わっている御両人は、今年の寒くない、冬の天候を憂えています。



しかし、「Wonderful! とっても、きれい!」と、常夏トリニダードトバコ出身のALT シャンタルは、英語と日本語で18日の雪景色を見ての喜びを表現しました。「やっと雪が降ってくれた。」「もっと降ってくれば雪合戦をしたり、雪だるまを作ったりすることができるのにな。」と、子どもたちも降る雪に喜び、「雪乞い」をする子どももいました。

本当に今年の冬は、暖かい日が多く、「小川の冬」を体感できたのは、17日の縄跳び大会の日と18日の朝雪景色が見られたくらいです。そんな中、校門そばの花壇に植えてあるチューリップの芽も日ごとに成長し大きくなってきました。

4月に4人の新1年生が入学する頃には、きっと色とりどりの美しい花を咲かせてくれることでしょう。さて、テレビや新聞などでは、「新型コロナウイルス」による罹患者の状態について、テレビや新聞など日々目にしています。ここ小川小学校でも、「新型コロナウイルス」やインフルエンザに罹患する人が出ないために、「うがい」「手洗い」「必要に応じてのマスク着用」「換気」というインフルエンザ対策を徹底して行っています。皆が元気に卒業式・修了式まで、過ごして欲しいと思います。



有終の美を飾ろう！ 参観日・育友会総会・2分の1成人式・学級懇談会～2月21日は小川小学校～

早いもので、6年生は卒業するまで今日を含め登校する日は20日、1～5年生は修了式まで24日となりました。同じ教室で、友だちや先生と一緒に勉強できる時間も、数えるばかりとなりました。



4月8日の始業式から2月20日までの授業日数は、174日です。この期間で子どもたち一人一人は、学校での学習や行事を通して、様々なことを経験し、感じ、学んできました。一人でできることや友だち同士で協力し合うことが増えました。我慢する心も大きくなりました。

明日は、本年度最後の授業参観と育友会総会並びに学級懇談会が開催されます。授業参観では、学んだことや成長したことの発表、2分の1成人式等もご覧いただけます。子どもたちが一年間取り組んだことを、学びの姿を通して、「子どもの成長」を実感していただけます。また、授業の後の育友会総会、学級懇談会と引き続きご参加いただくことで、「子どもたちの成長」を保護者や教職員と共有できることと思います。



{君の魂の中にある英雄を 放棄してはならぬ～フリードリヒ・ニーチェ}

「自分にはこれをやり切るだけの力がある!」と思える感情が「自己効力感」です。「自己効力感」は程度の差こそあっても、誰もが持っています。もともと持っているものなのに、外部からの評価や失敗体験によって、少しずつ減ってしまっているのです。哲学者であるニーチェはそんな「魂の中の英雄」を、「放棄するな!」と熱く語りかけています。「自己効力感」を高めるには「自分で決めて、自分で実行する」ことが大切です。大事なものは「なんとなく」ではなく、自分の行動に意志を持つこと。それを繰り返していけば、あなたの中の魂の英雄も目を覚ますでしょう!～(PHP 3月号より引用—中島 輝)